

# もんし 聞思

発行所 光山寺  
〒758-0063  
萩市 大字山田4553  
TEL (0838) 22-1370  
http://kousanji.net

「見たらみたまま  
聞いたら聞いたまま  
自分の目で聞くから  
腹が立つのよ」  
原田双栄師

## 納骨堂使用者の皆さまへお知らせ

平成二十七年年度の光山寺護持会役員会並びに門徒総代会総会において、光山寺納骨堂の新しい利用規約を定め、納骨堂の修繕費など(火災保険・電気代・清掃代金等含む)の維持費の負担を納骨堂使用のご門徒さんに求めることとなりました。

伝灯奉告法要のご懇志依頼の関係から維持費の徴収を一年間見送つてまいりましたが、昨年の護持会・総代会において平成二十九年より維持費を徴収する事となりました。維持費徴収の開始にあたり、納骨堂利用規約を見直し、納骨堂管理運営委員をご門徒より選出いたしました。

また、平成二十九年度からの維持費徴収にあつて、本年五月一二日の春季永代経法要の終了後に使用者の皆様にご説明会を実施いたします。(使用者の皆さまには是非ご出席ください)その後、新規約と同意書等を納骨堂使用者の皆様には郵送する予定です。

新規約の主な点は、納骨壇使用者の年間維持費を三千元、位牌壇使用者は二千元とする点。継承者等が不明、又は維持費未納で十五年が経過した場合には、運営委員・総代会の合意のもとに、納骨壇に閉しては骨を共同合葬墓に移し、位牌壇は閉鎖させていただきます。ただし、納骨壇を購入されている方で、未使用(遺骨を納骨されていない)の場合には、当面は維持費を徴収いたしません。

納骨堂維持費の徴収は維持管理経費の増加という点もありませんが、継承管理者を明確にする点にもあります。どうぞ、ご理解・ご協力をお願い致します。

尚、本年一月十五日から二月十八日まで、納骨堂の床・壁面改修工事のため納骨堂の出入りができません。本堂にはお参りできますので、どうぞお参りください。

### 成人式をお寺で!

日曜学校から仏縁のあつた井上美祈さんが、この度、成人を迎えたことを仏さまに奉告するため、に参拝されました。親子三代揃つて成人式を執り行いました。皆さまも初参式・成人式・結婚式・還暦式など、人生の節目節目を日頃お世話になつた方々と一緒に仏祖に奉告しませんか。



山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話) ☎257710

西本願寺の時間(KRラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分

### 仏教讃歌コーラスが団体参拝

仏教讃歌コーラスを指導される山中喜久子先生より、十一月十七日に本願寺音御堂、十八日に伝灯奉告法要に団体参拝された報告、「本願寺音御堂二〇一六に参加して」を頂戴しました。

「彌陀の名号となへつつ 信心まことにうるひとは 憶念の心つねにして 仏恩報ずるおもひあり(親鸞聖人と讃)」、(西本願寺御影堂に響く「一人の仏教讃歌」その響きの中に、今、私たち光山寺コーラス無憂華十九名も参加しているのだと思うと、胸いっぱい、ひたすら歌い、あつという間のひとときでした。あくる日は、伝灯奉告法要に参拝。数日前からCDで練習した音楽法



要に唱和し、雅楽の響きと厳かな儀式に感激いたしました。そのあとの『伝統のつどい』では、ご門主様ご家族に心和まされしました。「参加したいね」の坊主様の一言で始まった今回のお参り。計画、準備、練習するときもワクワク、気持はもう京都へ。みなさまのお陰で、実現でき、本当にすばらしい《お参り》ができました。ありがとうございます。

尚、本年七月八日(土曜)には光山寺コーラスの引き受けて、萩市民館で山口教区仏教讃歌の集いが開催される予定です。是非、多くの美しいコーラスを聞きにお越しください。

### 山口別院にて「子ども報恩講&寺フェス」開催

十二月三日、山口別院設立30周年記念イベント、こども若者ご縁づくり、として「子ども報恩講&寺フェス」が開催されました。光山寺より保護者と子供十四名が参加しました。当日は、山口教区内から三百名を超える子供たちが参加し、可愛い声が御堂いっばいに響きわたりました。

保護者の小橋朋子さんからは「萩市以外でこういった行事に参加することはないので、とてもいい経験になりました。寺フェスは様々な催しがあり、子供と親も共に楽しむ事が出来ました。このような機会に参加できた事に感謝しています。ありがとうございます。」と感想を頂きました。



### 光山寺行事案内

平成二十九年の光山寺前期行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

#### ★萩組・光山寺法要関連

- 一月 十日(火曜) 午前十一時半 最勝講(玉江地区)
- 一月 二十日(金曜) 午後七時 萩組連続研修(永照寺)
- 一月 二十八日(土曜) 午前十時 連研履修者研修会(山口別院)
- 二月 五日(日曜) 午後七時半 門徒推薦連絡協議会(長泉寺)
- 三月 十八日(土曜) 午後七時 萩組連続研修(蓮正寺)
- 三月 二十七日・二十八日(月・火曜) 萩組伝灯奉告法要団体参拝
- 五月 一日・二日(月・火曜) 春季永代経法要(講師、中島正念師)

#### ★総代会 関係

- 一月 二四・二五日(火曜・水曜) 門徒責任役員・門徒総代

#### ★子供会(日曜学校) 関連

- 一月 九日(月曜) 午前十一時 子供報恩講
- 以降、二月十二日(日曜)・三月十二日(日曜)

#### ★仏教青年会 関連

- 一月 九日(月曜) 午前十一時 子供報恩講と同時開催

#### ★仏教壮年会 関連

- 二月 四日(土曜) 午前十時 山口教区仏教壮年大会(山口別院、講師、谷間徹誠師)

#### ★仏教婦人会 関連

- 五月 下旬 午後七時半 光山寺仏教壮年会総会
- 二月 九日(日曜) 山口教区仏教婦人会 若婦人のつどい
- 三月 下旬 光山寺仏教婦人会常任委員会
- 四月 中旬 全役員会
- 五月 二一日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式

#### ★親鸞聖人讃仰会(登録制・要年会費二千元) 午後八時

- 四月 十七日(月曜、午後八時)・六月 十九日(月曜)
- 以降、隔月原則第三月曜、十月まで四回開催。

#### ★お経の練習会(どなたでも参加可、無料) 午後八時

- 五月 十三日(土曜)・六月 三日(土曜)・七月 一日(土曜)
- 以後、毎月原則第二土曜、十月まで六回開催。

#### ★雅楽練習会(原則日曜午後七時半、不定期開催)

- 一月 二二日(日曜) 午後五時半 新年会を兼ねる
- 三月 二二日(日曜) 午後七時半

※コーラス 原則第二・第四の木曜日(詳細は問い合わせください)

### ■仏教壮年会で研修会・忘年会

光山寺仏教壮年会(会長、来嶋健治)、文化部(野村謙次部長)研修会・忘年会が十二月二十四日(土)午後六時より光山寺にて開催されました。今年度も講師として萩博物館主任学芸員、道迫真吾氏をお迎えして、「長州と薩摩の密航留学生」と題してご講演いただきました。約六十名の参加者が話に聞き入り、研修会終了後は、光山寺仏教婦人会有志の皆さんも参加され、約四十名のご門徒と共に賑々しく忘年会が庫裏にて開催されました。尚、例年のソフトボール大会は十月二日に開催されました。

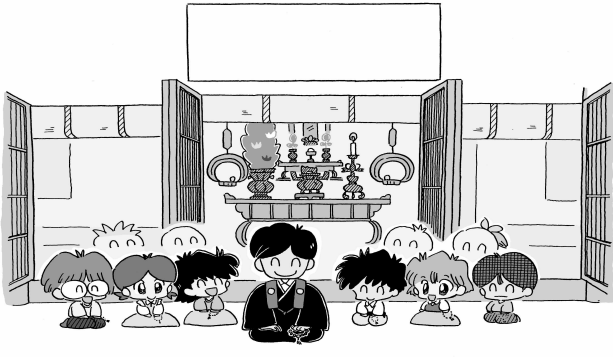
### ■初参式のお知らせ

親鸞聖人の誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月二十一日(日曜日)午前九時半より光山寺にて開催されます。生後一年くらいまでのお子さんが対象となりますが、仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。参加希望の方はお子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。尚、当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けています。是非お申し出ください。



### ■親鸞聖人鑽仰会会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を今年も四月十七日よりスタートしますので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず広く親鸞聖人のみ教えを仰ぐ方々の集まりです。年度会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。本年度も「正信偈」の内容を学ぶをテーマに、「季刊せいてん」をサブテキストとしながら学習します。『浄土真宗聖典(註釈版)』が必要となりますが、お持ちでない方は当日お申し出ください。原則偶数月、月曜日午後八時開催となります。時間にはご注意ください。詳しい申込みについては別紙をご確認ください。



### ■法話「ガンに生きた念仏者」

本願寺新報「リビング法話より」昭和五九年二月一日掲載  
門信徒会運動本部本部長 酒井正知

患者が慰め励ます  
早春のある日。亀川国立病院の一室。彼の手術は胃ガンだった。看護婦さんが声をかける。患者へのいたわりである。「阿部さん、大丈夫ですか。僕は大丈夫。看護婦さんは大丈夫ですか。サラリと応答する病人なのだ。まるで、機鋒するどい禅僧のようだ。彼はガンということを知っている。そしてこんな珠玉の一言を吐く。ふつ、ガンということは、本人には知らせない。真宗門徒の君ならばどうするか。でも、きつと、思いまどうにちがいない。

彼の奥さんも悩んだ。医師からは、知らせないようにと、釘をさされていた。奥さんにはそれが耐えられぬ。毎日顔をあわせるのに黙っていた。奥さんにも考えられぬことだった。ある方に相談した。その方は、主人をよく知っていて「真相を言うべきだ。念仏者をごまかすのは失礼だ」と言下に応答があつた。「お前は、何をそんなに悩んでいるのか。」主人から見破られた奥さんは、全部を話した。「そんな事で心配させなくて、すまんかった。僕は知つてる。奥さんは胸がスッキリした。改めて、これからの一日一日を大事にせねばと思った。あとで、主治医にひどく叱られた。「治療の足をひっぱるようなことは、しないでほしい。いくら聖人君子でも、死を宣告されて平気でいられるものではない。」医師と氣まづくなつた奥さんは困つた。どうしたのか。顔色がわるいが、何かあつたのか。訳を知つた彼は、早速、主治医に会つた。自分の氣持ちをつたえた。家内とは、かねがね約束しています。ガンならガンと教えて欲しい。その上で、大事なことを互によく話し合おうと。ですから、決してご心配りません。と納得してもらつたという。

こんな患者は、恐らく初めてであつたらう。そして、奥さんに言う。「いろいろ氣をつかせて、すまんかった。心配せんで、もう帰れ」あとで、奥さんは告白する。「ほんとに、どっちが病人だか…。いつも主人に慰められ、励まされてましたわ彼は、こんな男なのだ。」

### ■お育てをいただき

主治医がかわることになり、挨拶にきた。阿部さん、しつかり、ガンと戦つて下さい。「ありがたうございます。でも私は、ガンとは戦いません。せいぜい仲良くして、生きられるだけ生きますわ」真珠の輝きにも似た一言だ。彼は、こんな病人だった。誰でも、病氣にはなるが、なかなか

か病人には慣れぬものだ。かつて、池田勇人総理がガンで倒れたと聞き、医師団は、前ガン症状だと発表した。そして、亡くなつたあと「実は、当時の発表でウソを申し上げたのは、本人に真の病名を知らせないためで、医師として、やむを得なかつた」と。

ガンをめぐるいきさつは、実にやつかいた。いまでも、鮮やかに心に印されている情景がある。彼は、手術した年の秋の仏社の集まりに、大分から車でやつて来た。病後らしい顔色だが、それでも、ニコリと、いつもの彼らしく、なまんだぶと、手を合わせて言う。「大きなお育てをいただきありがとうございます」と。集会で挨拶に立つた彼の短い言葉の感銘をなんといつたらいいか。僕は、この春、ガンの手術を受けました。胃を切りとつてしまいました。僕のいのちは、あと一年ということですが、制ガン剤をのみながら、どうにか動いています。僕には、もう残された時間がありません。それで、このたびは同じ仏法のお育てをこらうむつておられる皆さんに、是非ともお会いしたくてやつてまいりました。いまは、こうして、仏縁深き皆さんのお顔を見ただけで満足です。なまんだぶ。ありがたうございました。「微塵も暗いかげのない朗らかな声だつた。みんな驚いた。ともに、仏道にみちびかれた者同士の胸にかような感動が、会場をうらぬいた。」

### ■明るくさわやかに

彼の口癖は、「愉快ですなあ…。ありがたいですなあ…。不思議ですなあ…。」どんな忙しい仕事でも、作業服に、ほりだらけの顔をほころばせながら遇つてくれた。仏さまのような微笑みを浮かべ、は朗らかに念仏申した。彼は勉強家だつた。仏書に親しんだ。そして、仕事道楽と言われるほど、仕事にも打ち込んだ。仕事場の壁には、こんな掲示がしてある。「頂上を忘れて登る不死の山。結果がどうなるか」と。急がずに、急がずに、ただ念仏して。「足利浄円老師の言葉だそう。最後のただ「念仏して」の一句に千鈞の重みがある。彼の葬儀ののり手には、胸を打たれた。「阿部さん。仏法などというものは、お寺さんのする仕事だと思つていました。ところが、あなたの生きざまを見て、仏法とは、すべての人間が本心に生きていく道なのだ、はじめて知りました」この一語の威神力に、私は打ちすえられる。彼の念仏は、底ぬけに明るく、冬晴れの空のようにさわやかだつた。彼の名は、阿部克己。仕事は製材業。そして、大分の初代仏社社長。五十八歳だつた。

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

救こころの電話(三分間法話) ㉞25-7710

西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分